



令和8年2月27日発行

発行：山形県立荒砥高等学校PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校PTA文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL(0238)85-2171 FAX(0238)85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>

令和7年度 3年生進路先一覧 (男、女)

<p>★就職者 27名</p> <p>白鷹町 8名 (男4名 女4名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しらたか不二サッシ 株式会社 ・株式会社 ハヤタ製作所 ・衣袋建設 株式会社 ・株式会社 メトリ ・株式会社 ニクニ白鷹 ・マルハニチロ株式会社 白鷹工場 ・未定 <p>公務員 7名 (男6名 女1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鷹町役場 <p>長井市 3名 (男3名 女0名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 山口製作所 ・有限会社 コマツ精機 	<p>(男24名 女6名)</p> <p>山形県内 5名 (男3名 女2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタカローラ山形 株式会社 ・株式会社 テイクオフ ・飯豊めざまの里 株式会社 ・山形日産自動車 株式会社 ・西置賜ふるさと森林組合 <p>★進学者 13名 (男4名 女9名)</p> <p>大学 1名 (男1名 女0名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜国公立＞ ・東北公益科大学 公益学部 公益学科 <p>短期大学 3名 (男0名 女3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜国公立＞ ・米沢女子短期大学 国語国文学科 ＜私立＞ ・東北文教大学 短期大学部 子ども学科 ・仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科
--	--

<p>看護・医療系専門学校 1名 (男0名 女1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形厚生看護学校 看護学科 <p>専門学校 8名 (男3名 女5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形調理師専門学校 調理コース (1年過程) ・山形美容専門学校 美容科 ・大原ビジネス公務員専門学校山形校 オフィスビジネスコース (2年制) ・仙台デザイン&テクノロジー専門学校 ・スーパークリエイター科 スーパーデジタルイラスト専攻 ・仙台ヘアメイク専門学校 美容本科総合コース ・仙台総合ビジネス公務員専門学校 総合ビジネス科 総合事務専攻 ・トヨタ東京自動車学校 自動車整備科 ・大原ビジネス公務員専門学校山形校 公務員総合学科



2年次修学旅行



吹奏楽部第22回定期演奏会



駅からハイキング



囲碁班東北大会



白鷹町産業フェア



今年度の進路状況を振り返って

進路指導課 荒井 清明

今年度の三年次三十名は、就職希望者十七名と進学希望者が十三名と就職希望者が多い年でありました。

今年度も昨年度に引き続き、企業の業績が好調なことから、積極的な求人活動を行う企業も多く、県外、県内を問わず、多くの企業から非常に良い条件での求人を出され、卒業生も、大学や専門学校も、よりよい学生生活を確保するために工夫を凝らした入学試験を実施しています。このような状況の中で、自分の長所を見極めて進路先を選ぶのは、難しくなっていると感じています。しかし、実際には就職・進学ともに活発で積極的な動きにより、年内に三年次のほとんど全員が進路を決定することができました。

初めに今年度の就職は、希望者全員が地元企業へ就職を希望しており、白鷹町役場をはじめ、ハローワーク長井管内に営業拠点を持つ事業所に希望者ほぼ全員が内定いただいたことは、地域を支える人材の輩出を目指す本校としてはうれしい限りであります。これも、白鷹町合同企業説明会を始め、就業体験活動や企業見学など、地元企業の協力の基に進路について考える機会を実施させていただいておかげだと考えております。

続いて今年度の進学は、総合型選抜制度を利用して生徒の多くが合格しております。四年制大学に一名、短期大学に三名、各種専門学校に九名が決定しております。選抜方法に口頭試問やプレゼンテーションなど、学校の色に合わせた多様な試験が実施された。これらの試験では、総合的な探究の時間での探究活動や学校活動を発表して合格につながることができました。この結果は、後輩たちにも良い見本になったと考えています。

終わりに、今年度は三十名が本校を巣立ちました。何かのご縁で一緒する機会がありましたら、一言お声をお掛け頂ければ幸いです。

卒業にあたって

三年次主任 芳賀有美子

一学級規模になってからは最多となる三十名の生徒たちが卒業を迎えようとしています。またまだ幼さが残る顔で入学してきた生徒たちが今では学校のリーダーとなり、頼もしさが見られるほどになりました。三年間の荒砥高校での生活が生徒たちを成長させてくれたものと、心から嬉しく思います。

一年時の上級学校見学会や白鷹町企業見学会では将来への視野を広げ、二年時の就業体験活動では働くことの厳しさ喜びを学びました。三年次の置賜巡りバスツアーやテニス大会、講習会では郷土の魅力や再確認し、社会的な教養を身に付けることができました。白鷹町から多大な支援をいただいていた修学旅行では日本の歴史や文化を肌で感じながら友人と最高の思い出を作ることができました。また、文化祭・スポーツ祭・クラスマッチの三大行事では仲間と協力してひとつの成し遂げる喜びを感じることができました。

こうした一つひとつの歩みは、保護者の皆様、後援会をはじめとする町内の皆様方の多大なるご理解・ご支援があつたからこそ実現できたものです。本校での誇りを胸に、新たな世界へ羽ばたく生徒たちを、今後とも温かく見守っていたいただければ幸いです。

健全育成部

健全育成部長 岩崎 慶一

今年度、健全育成部では、朝のマナーアップ運動を年二回実施しました。

こちらからの挨拶に生徒の皆さんも元気に挨拶を返していました。だきあげがとうございました。

活動の中で先生が生徒に笑顔で話しかけている様子が多くみられ、荒砥高校が素晴らしい学校だと感じました。

今年度、活動にご協力いただきました役員、生徒、教職員の皆様、本当にありがとうございました。

文化部

文化部長 佐藤 良一

今年度の活動を振り返って

多くの皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、PTA文化部として活動できたことに心より感謝申し上げます。荒高祭やスポーツ祭では、仲間と力を合わせ、それぞれの役割を大切にしながら取り組む生徒たちの姿に心を動かされました。部活動を通して日々の学びや経験を積み重ねる様子も感じることができました。地域企業との交流や諸活動を通じて、学校が地域に支えられていることを改めて実感しました。後援会をはじめ、関わってくださったすべての皆様、深く御礼申し上げます。

この一年を振り返って

PTA会長 武田 美代子

保護者の皆様、そして教職員の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度も行事の運営や学校生活の支援など様々な場面で多くの皆様にお力添えをいただき、無事に一年を終えることができました。お忙しい中、役員や委員をお引き受けくださった保護者の皆様、そして常に温かくご指導くださった先生方に改めて感謝申し上げます。

高校生活は、学習面だけでなく、生徒一人ひとりが将来へ向けて大きく成長する大切な時期です。PTAとして微力ではありますが、学校と家庭をつなぐ架け橋となり、生徒たちが安心して充実した学校生活を送れる環境づくりに関わられたことを大変うれしく思っております。

至らぬ点も多々あったかと存じますが、皆様のご理解とご支援に支えられ、PTA会長としての役目を務めさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。

来年度も本校のさらなる発展と生徒たちの健やかな成長を願っております。今後ともPTA活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。

荒高祭特集



私は行事実行委員長として荒高祭の企画、運営を行いました。今年度の荒高祭のテーマは「笑顔無限大青春これきり一度きり」です。最初は全校生徒をうまくまとめ、企画や運営を進められるかとても不安でした。実際に仕事を始めると、想像以上に一人でこなす作業が多く驚きました。しかし、生徒会の仲間の協力を支えられ、無事に思い出に残る行事を作り上げることができたと思います。今回の経験を通して、仲間と助け合う大切さや、準備段階から計画的に動くことの重要性を実感しました。この学びを今後の生活にも生かして行きたいです。そしてこれからの荒高祭の行事がさらに楽しく、より充実した荒高祭になることを期待しています。



荒高祭実行委員長 佐竹 和也

実行委員長から

荒高の役員をさせて頂いたとき、三年目の荒高祭では、私達が中心となって模擬店企画のメニューを役員全員で考え、企画しました。色々な意見が出る中で決まったメニューが、昨年度も販売して大好評だった駄貝にあるひさごさんの特製唐揚げと長井にある美味いお米屋さんのおにぎり四種役員のお父さん方特製焼きそばとランクでした。昨年度は終了時間前に完売してしまい、買えなかったお客様もいた事から数量を増やして販売しました。当日は、たくさんのお客様が来てくださり、準備した数量全部売り切ることができました。一、二年次生の企画も楽しめる工夫がされており、感心させられました。三年次生のお菓子も可愛くデコがされており美味しかったです。最後になりましたが、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。私自身も貴重な経験をさせて頂いたとき、ありがとうございました。



三年副部長 佐藤めぐみ

荒高祭に参加して

はばたけ! 荒高生



後援会長 山田 仁

は、荒砥高校の教育振興と向上のために、日頃より、物心両面にわたり御協力いただいております。ご御礼申し上げます。 「がんばる生徒」を「皆で応援する」、これが後援会の思いであり願いです。 先日、「荒高祭」の御案内があり、はつらつとした生徒達の姿を見て感激してまいりました。「囲碁クラブ」では、私事、二十年ぶりに基石を打つことにお相手は、全国大会出場の生徒達、気持ちよく打たせてくれたのも実力あればこそ、さすがだと思います。 生徒数の減少でクラブの維持自体が難しい時代。しかし、やりたいことがあれば、少人数であっても、地域全体で支え応えてあげる、我が高校の特色として定着すればと思います。 今年度から入試制度が「前期・後期」の二回実施に変わり、受験の機会が増えることになり。少し範囲を広げ

て、「荒砥高校」を「発信」していく必要もあります。 具体的には、町当局の御理解のもと進められております。「荒砥高校の魅力化事業(略称)」について、従来事業(入学時補助金など)に加え、「生徒たちにとつての魅力」とは何か、その探究と実現に微力ながら努力してまいりたいと思っております。 これら実現のためにも、一般会員の皆様(保護者)、特別会員(主に企業・個人・教職員)の皆様には、引続きの御理解と御協力をお願い申し上げます。 もう時節は新たな旅立ちのとき、子供たちの前途に幸多からんことを祈ります。



見違えるような成長を遂げる生徒達です!



校長 石田 充

には、日頃より、本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。 本校では、令和七年度生徒会スローガン「優言実行」言葉は人の心を結ぶ」を合言葉に、全員明るく学校生活を送っております。 今年度も、スポーツ祭、荒高祭、クラスマッチの三大行事を、生徒達の充実感のもとに実施することができました。荒高祭では、PTAの皆様より焼きそばや唐揚げ、おにぎりなどを出していただき、短時間で完売するなど、美味い!と頰張る生徒たちの笑顔がたくさん見られました。お蔭様で、小中学生をはじめとする地域の方々、卒業生など、約二百人近くの方が来校してくださり楽しんでいただきました。 十月には、商業の授業の一環としてフラワー長井線を盛り上げる「駅からハイキング」という企画を行いました。授業を選択した三年次生が、山形鉄道様や白鷹町、河東日本様の多大なるご協力のもと、ご参加いただいた一般のお客様に対し、町内を案内

しおもてなしをするという企画です。約三十人のお客様がご参加くださり、フラワー長井線の車窓から見る景色、白鷹町の観光名所、荒高生手作りの羊煮や紙芝居をお楽しみいただき、大変な好評をいただきました。 さらに、部活動では、十一月に行われた東北高校囲碁選手権において、団体で見事第三位入賞し、大将を務めた一年次青木七海さんが、三月に行われる全国大会の個人戦に東北代表として出場することにになりました。囲碁班全員が高校に入学してから囲碁を始めたことを踏まえれば素晴らしい快挙と言えます。 その他、卓球部、陸上競技部、吹奏楽部、総合運動部、総合文化部美術班、パソコン班、それぞれ頑張っており。 荒砥高校の一番の魅力は、白鷹町を始めとする地域の方々、PTA、後援会の皆様からのご支援のもと、生徒達が入学してから卒業するまでに、見違えるような成長を遂げることにあります。 今後も荒砥高校での学びを通して生徒達が「なりたい自分」を目指せるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。PTA、後援会の皆様には、引き続きのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

令和7年度 後援会特別会費ご支援団体・個人

- ご支援ありがとうございました。
- 《団体》
 - (株)アレスニテ山形
 - 朝日金属工業(株)
 - 衣袋建設(株)
 - 大嶋緑地造園(株)
 - 小角薬局
 - 加賀マシクロソーション(株)
 - 喜川製工
 - 喜助
 - 共栄建運(株)
 - 黒沢建設(株)
 - 光洋精機(株)
 - 宏陽通信工業(株)
 - 有限会社小嶋自動車整備工場
 - 有佐藤製作所
 - (株)三協製作所
 - (株)サンユー技研
 - (株)三和製作所
 - (株)椎名製作所
 - (株)四室製作所
 - (株)尚古堂
 - しらすたか不二サッシ(株)
 - (株)志ん月
 - 白鷹福祉会
 - (株)鈴木木工店
 - 須貝設備工業(株)
 - 有セイノヤ
 - 医療法人社団総明会
 - (株)タスパークホテル
 - 第二買物棟
 - 長井弘徳会
 - 長井福祉会
 - ナカヤマ製作所
 - 那須建設(株)
 - 那須建設(株)
 - 日本G.T(株)
 - (株)ニク(株)
 - 有長谷部鉄筋
 - (株)ハヤタ製作所
 - ヒメキヤステック&メタルワークス(株)
 - ヒト建設(株)
 - (株)丸秀
 - 丸吉コンクリート工業(株)
 - (株)マル二建工
 - (株)メトリ
 - 山形新興(株)
 - 《個人》
 - 五十嵐政司
 - 菊池 豊宗
 - 土方 俊男
 - 沼澤 政幸
 - 横沢 禎二
 - 荒砥高校教職員一同

《順不同・敬称略》



囲碁部
全国大会に出場して
 二年 村上 愛海

今年度は囲碁部として、県大会、東北大会、総文祭、全国大会と、様々な大会に出場することができました。その中でも私は全国大会が一番印象に残っています。昨年度は団体戦に出場しましたが、今年度は個人戦で大会に出場しました。結果は、全敗で悔しい結果となりましたが、全国の強い相手とたくさん対局し、自分の戦い方を見つけることができました。対局相手から学ぶことも多くあったり、学びの多い大会になりました。この経験は他ではできない、とても貴重な体験だと思います。これからもコーチの先生方や顧問の先生に感謝の気持ちを持ちながら活動していきます。



東北大会に出場して
 一年 青木 七海

私は、今回初めて東北大会に参加し、東北の五県すべてと戦って気づくことが多くありました。特に宮城県、岩手県と戦って自分の打ち方に欠陥が多いことや、死活を読むことが苦手なことなどに気づいたので、三月に控えている全国大会に向けて欠陥を増やさずに打つ方法を研究し、死活もたくさん練習してさらに強くなれるように努力していきたいです。また、先生や先輩とたくさん打っているいろいろな打ち方に対応できるように練習を頑張ります。



令和七~八年度
生徒会役員紹介

会長	村上 愛海	事務局長企画	松野 悠太
副会長	石田 彩花	事務局長総務	児玉 颯樹
事務局長	佐藤 日向	事務局長	原田 小雪
議長	齋藤 伶士	事務局長	五十嵐佳乃
生活PR委員長	馬下 智貴	事務局長	佐藤 光雅
保健委員長	横山 美月	事務局長	鈴木 海斗
図書委員長	郷家 奏		

優言実行!
 前生徒会長 伊藤 心結

今年度は「優言実行」言葉は人の心を結ぶ〜」を掲げ、優しい言葉があふれる学校を目指して活動してきました。全校生の皆さんの意見を取り入れ、パン・おにぎり販売を始めたり、行事でも新しい企画や種目に取り組んだりするなど、学校全体で盛り上がる事ができたと思います。これからは、新執行部を中心に地域の方々への感謝とつながりを大切に、さらに荒砥高校を盛り上げてほしいと思います。先生方、生徒の皆さん、地域の方々、保護者の皆様、一年間ありがとうございました。



より良い学校づくりを目指して
 新生徒会長 村上 愛海

今年度は私は一年間、生徒会の議長として活動してきました。そして、私はこの学校を、笑顔の絶えない明るい学校にしていきたいと思ひ、生徒会長に立候補しました。私はこれから、一人一人の声に耳を傾け、生徒の声の形になる学校を作りたいと考えています。慣れないことも多く大変だと思いますが、生徒会のメンバーと協力し、より良い学校づくりを目指して頑張っていきたいと思います。

産業フェアについて
 二年一組 小林 凜

私は「総合的な探究の時間」の一環として町のおにぎり屋さん「エリート思米(しみぎり)さん」のコラボ企画に参加させて頂きました。今回で第四回目となるコラボメニューは「町おこわ飯」と「ジュース1塩麹唐揚げ」でした。町おこわ飯は、白鷹町の富富(とむとむ)というしいたけや岡の台こんぼ、人参、打ち豆などを使用した。ジュース1塩麹唐揚げは、おこわと合うように試作を何度も重ねて自分たちが納得いくものを作ることができました。当日の産業フェアでは沢山の皆さんに買っていただくことができ、とても嬉しかったです。少しでもこの活動が白鷹町の地産地消の推進に繋がればと思います。今回、エリート思米の黒澤さんや、しいたけ農家の船山さん、白鷹町商工会の四釜さんなど、地域の方々や協力いただいた方々、充実した取り組みになりました。ありがとうございます。



修学旅行

京都・大阪旅行
 修学旅行委員長 二年一組 児玉 颯樹

白鷹町からのご支援により、京都大阪へ行ってきました。旅のはじめは濃霧で飛行機の欠航も考えられましたが、無事に搭乗でき、旅のスタートを切る事ができました。私の席は窓側で、普段見ることのない高さからの景色といえ、一言で言い表せないほどでありました。空港に到着後、バスに乗りまして、金閣寺へと向かいました。金閣の舍利殿はまさに豪華絢爛。清水寺は生憎の雨模様でしたが、人は大変多く驚きました。自主研修では、伏見稲荷や平等院へ行き、その景色に感嘆し、食事に舌鼓を打ったりとても良い自主研修でありました。他には海遊館、USJや三十三間堂、東寺にも行ってまいりました。良い思い出ができました。ありがとうございました。



京都・大阪旅行



駅からハイキング
 三年一組 岩崎 琴音

荒砥高校では、初めて駅からハイキング企画に挑戦しました。準備では慣れないことも多く大変でしたが、「地域の魅力は大勢の人に知ってもらいたい」という思いで、みんな一生懸命取り組みました。自分たちで見学する場所を決め、それぞれの魅力を紹介しました。普段歩かない道や自然の中を歩きながら、小さな発見を沢山見つけられて、歩く楽しさを改めて実感しました。参加してくださったゲストの皆さんが笑顔で楽しんでる姿を見ると、「やってよかった!」という気持ちになりました。遠くから来てくださった方々や、支えてくださった先生方への感謝の気持ちで胸がいっぱいです。今回の挑戦は、私にとっても、みんなにとっても、一生忘れられない素敵な一日になりました。

産業フェアについて

産業フェアについて
 二年一組 小林 凜

私は「総合的な探究の時間」の一環として町のおにぎり屋さん「エリート思米(しみぎり)さん」のコラボ企画に参加させて頂きました。今回で第四回目となるコラボメニューは「町おこわ飯」と「ジュース1塩麹唐揚げ」でした。町おこわ飯は、白鷹町の富富(とむとむ)というしいたけや岡の台こんぼ、人参、打ち豆などを使用した。ジュース1塩麹唐揚げは、おこわと合うように試作を何度も重ねて自分たちが納得いくものを作ることができました。当日の産業フェアでは沢山の皆さんに買っていただくことができ、とても嬉しかったです。少しでもこの活動が白鷹町の地産地消の推進に繋がればと思います。今回、エリート思米の黒澤さんや、しいたけ農家の船山さん、白鷹町商工会の四釜さんなど、地域の方々や協力いただいた方々、充実した取り組みになりました。ありがとうございます。